

(モデル校名 福岡県 二丈町立二丈中学校)

○学校の概要 (平成15年4月現在)

二丈町立二丈中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	1	11	27
生徒数	109	120	121	2	352	

1. 1学年の課題は、昨年度の「環境」の学習実践をどう発展させたら良いかである。2学年の課題は、「職場体験」において、生徒の課題追究活動が主体的になるような職場体験にどうもっていったらよいかである。3学年の課題は、「福祉」において、生徒の課題を明確にさせ、主体的に追究させるにはどうしたら良いかである。

学校としての課題は、下記の通りである。

- (1) 生徒の学びの姿をどのように記録していくか。
- (2) 日程、会場、ゲストティーチャー等の学年間の調整をどのようにはかるか。
- (3) 学年の学習計画に応じた観点別評価計画の検討

2. 小中高の学校間連携の視点として、一貴山小学校とは「福祉」を柱とした、また深江小学校とは「環境」を柱とした、身につけさせたい学習内容の継続性と発展性の検討を進めている。

3. 平成15年度の取組内容

1学年「環境」 単元「私たちにできる地球温暖化防止作戦」

「地球温暖化の原因である二酸化炭素をどうすれば削減できるか」を全体課題として、省エネ、緑化推進、新エネルギー、リサイクルの4コースに分かれて追究活動を行わせた。その際、昨年度実践した現2年生をゲストティーチャーとして招き、その成果や課題を聞くことを通して、課題追究の意欲化を図った。

2学年「職場体験」 単元「二丈町の職場体験に出かけよう」

「職業人の生き様にせまる職場体験をしよう」を全体課題として、二丈町の第1次第2次第3次の各産業から一つの事業所を選択し、3回の職場体験を行わせた。その際、1回目の体験を、課題把握のためのプレ体験として位置づけ、2回目3回目の体験を課題追究の場として位置づけた。

3学年「福祉」 単元「自分の生き方を見つけよう」

「福祉社会の一員としてできることを考えよう」を全体課題として、視覚障害者福祉、聴覚障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉の4つのグループに分かれて追究活動を行わせた。

4. 平成16年度は、15度のテーマや単元を踏襲し、学習内容において小中高間の継続性と発展性をふまえて具体化させていきたい。また、人材活用においての連携、たとえば高校生をゲストティーチャーとして招くなどの取組を進めたい。

平成16年度 総合的な学習の時間 全体計画

二丈町立二丈中学校

「総合的な学習の時間」の本年度の目標
 自ら課題を見つけ、主体的に学び、より良く問題を解決する資質や能力を培うとともに、学び方やものの考え方を身につけ、自己の生き方を考える態度を育てる。

1年生の目標	2年生の目標	3年生の目標
試行錯誤と表現方法の能力育成を重視し、積極的に交流しようとする生き方の定着を図る。	課題発見と情報活用能力育成を重視し、自分の考えをつくり共生しようとする生き方の定着を図る。	振り返りと情報処理の能力育成を重視し、責任ある行動をつくり自立しようとする生き方の定着を図る。

「総合的な学習の時間」の目標
 地域に学び、地域に働きかけ、生き方を探る体験活動と学び方の育成に重点をおいた問題解決学習を通して、自己の生きる力を育てる。生きる力の4観点 ①問題解決能力 ②学び方や考え方 ③主体的・創造的な態度 ④生き方・あり方

- 推進の方針
- ・二丈町の自然環境と社会環境の実態に学び、二丈町の人材や教材を活用した学習を推進する。
 - ・自己の生き方を探究する進路学習との関連を図る。
 - ・教科の学習との関連を図る。
 - ・総合的な学習の時間推進委員会を設置し、学習目標・内容・方法・評価について練り上げ、学習の充実を図る。
 - ・総合的な学習の時間の学年分掌を明確化し、全職員による指導体制の整備を図る。

めざす生徒像 自ら問題に気づき、何をどうすればよいか考え、解決に向けて行動する生徒

- ・自らよく考え、課題解決のための表現力を身につけた生徒（能力面）
- ・自他の人権を大切に、自己の生き方を高めようとする意欲を持った生徒（態度面）

名称 学年	"Discovery Time" In Nijyo		
	1学年	2学年	3学年
テーマ	二丈町の環境から地球環境の保全を考えよう	二丈町の人々の生き方に学ぼう	自分の生き方を考えよう
学習課題	環境 地域環境についてよさや問題点を発見し自らの生活を見直すこと	職業 町の職場体験を通して町を支えている人々の生き方に学ぶこと	福祉・進路 福祉体験を通して自己の進路(生き方)を考えること
主な学習活動	○ 二丈町の自然環境の実態を知る。 ○ 地球環境問題調査活動に取り組む ○ 個別課題に応じたコース別体験を行う。	○ 二丈町の産業の実態を知る。 ○ 職業人の生き方を学ぶ課題探究を行う。 ○ 進路選択能力を高める体験を行う。	○ 二丈町の福祉の実態を知る。 ○ 自らの生き方を探る体験活動を行う。 ○ 進路適応力を高める体験を行う。
身につけさせたい資質や能力	① 二丈町の環境や地球環境を守っていくための課題を自ら設定し何をどうするのか、見通しを持ちながら失敗やつまずきを乗り越え、解決活動に取り組む能力。 ② 話を聞きながらメモをとる方法や新聞を楽しくつくる方法、インターネットによる情報収集の方法を活用し、分かったことを友達によく伝えるように工夫して発信できる。 ③ 二丈町の自然環境や地球環境問題に強い関心を抱き、環境保全や地球温暖化防止の方法を見だし、自分なりの結論が出るまで積極的に活動を続ける態度。 ④ 身近な環境に対するより良い関わり方を自分らしく考えることができ、伝える満足感や充実感を味わい、自分をさらに伸ばしていこうとする。	① 二丈町の産業のよさや職業人の思いを調べ、仕事の大切さや社会的意味、働く人の気持ちを探究しようとする課題を自ら設定し、課題解決のために何をどうするのかという見通しを持ちながら、課題に沿って計画的に職場体験に取り組む能力。 ② 話を聞きながらメモを取る方法や依頼状、事前訪問による学習課題の表示及び職場体験における職業人との交流における情報を活用し、探究結果と考察を友達によく伝えるように工夫して発信できる。 ③ 二丈町の産業や職業に強い関心を抱き、働く誇りを実感する場を見出した上で、職業人の生き方に対する見方や考え方を深め、探究結果と考察を友達によりよく伝えるように工夫して表現していこうとする態度。 ④ 二丈町の産業と自分たちの生活との関わりについて自ら見つけ直し、産業の特色や職業人の誇りを他に伝えることができ、この満足感や充実感を味わい、郷土愛や勤労と奉仕の精神を深め、自分をさらに伸ばしていこうとする。	① 福祉の実態を調べたり関連する人々と交流を深め、自ら設定した学習課題の解決に向けて見通しを持って学習する能力。 ② 聞き取り活動、アンケート調査、インターネットによる検索などを活用し、習得した知識や技能を実際の福祉活動の場で活用し、分かったことを専門家や地域の人によく伝えるように工夫して発信できる。 ③ 福祉の必要性や課題に関心を抱き、課題解決のための実態調査の方法や関連する人々との交流の方法を自分で見だし、ねばり強く活動を続け、分かったことを専門家や地域の人によく伝えるように工夫して表現しようとする態度。 ④ 福祉社会へのより良い関わり方を自分らしく考えることができ、専門家から評価を受けたという満足感や充実感を味わい、充実した福祉社会を築こうという意欲を持つ。
育てたい技能や態度	○ 情報収集、表現方法等	○ 情報収集、情報活用等	○ 交流、共生の態度等
評価方法	・様相観察、まとめの記録文等	・体験記録、自己評価文等	・自己評価、レポート文等
体験内容	自然環境ウォッチング 地球温暖化防止体験	職場体験 地域の産業を知る体験(漁業)	福祉体験
「同和」教育との関連	・生命の尊さ ・郷土愛	・望ましい職業観の育成 ・社会の一員としてのあり方	・まちづくりと部落問題 ・これからの自分の生き方